

「インフラで未来を変える」を見て

堀木 友翔

私は、「インフラで未来を変える」を見ての感想は五つあります。

一つ目は、インフラと私たちの生活についてです。私たちの生活になくしてはならないインフラは駅や空港などの運輸施設や、漁港などの魚を取る施設はその地域を発展させるために役割をはたし私たちの生活と密接に関係していることがわかりました。

二つ目は、青森を豊かにするために最も必要なのはインフラということです。この青森はとても産業でうるおっているその青森の良さを他の地域に速く送るためにインフラは深く関わっているということがわかりました。

三つ目は、道路や河川を整備したり壊れた時に直したりするためには建設会社が一生涯懸命頑張っているということです。暑さや寒さの中で仕事をするのは大変ですが、建設会社の人がいなければ、インフラを作ることでもでき

なければ壊れた時に直すこともできないとい
うことが分かりました。

四つ目は、青森県の道路を全二つなぎ合
せると二万キロもあり、これが地球半周分
にもなるということに大々驚きました。道路が
たくさんあることによつて私たちの生活は豊
かになります。反面、壊れて補修しなければ
ならない道路が多くなり、お金もたくさん
かかるということも分かりました。

また、青森県は冬に雪がたくさん降りますの
で、これを降雪するお金もたくさんかかるこ
ともわかりました。

五つ目は、最近、いろいろなところで発生
する災害についてです。ダムなどのインフラ
によつて洪水を防ぐことはできますが、百パ
ーセント安心なわけではなく、普段から災害
に対して備えることも必要だとわかりました。
これから私も近くの避難所を確認しようと思
います。

このようなことから、インフラによつて人

ミライ賞

々の生活がっくら豊かになることもでき、
また、災害のリスクを少なくすることもでき
ます。青森の食文化を多くの場所に届けるこ
とができたりより多くの笑顔を地域に届ける
ことができそうです。これらを支える建設業は大
変だけど素晴らしいと感じました。

私のおいしいせんとおばあさんは岡山に住ん
でいて新幹線びいまますが、この新幹線も立
派なインフラなんだなあと感じています。

私は、将来科学者になりたいです。科学の

力でみんなを豊かにしたいと考えるからです。
インフラにも同じ力があることを知って大変
興味を持ちました。私もこれからの青森の登
展に貢献できるように頑張りたいです。